

## 04 名古屋城冬まつり「城小屋」オンライン講座

- 【日 時】 令和3年1月9日(土)  
【会 場】 木曾町御料館 (旧帝室林野局木曾支局庁舎)  
【内 容】 以下のとおり

今回のイベントは、名古屋城「本丸御殿」建設以降、名古屋市民の森づくり事業等の交流をつづけているが、コロナ禍により相互交流ができない中、10月下旬の名古屋城総合事務所との打合せで、最近増えているリモートを活用したオンラインイベントの可能性を検討した結果、名古屋城が主催する名古屋城学びの場「城小屋」にてオンライン講座を計画することとなり、以前、木曾町でご講演いただいた中部森林管理局職員の井上比呂登氏に講師を依頼したところ、快く引き受けていただいたことで実現しました。

当日は「木曾式伐木運材図会」が保管されていた御料館からの中継を、名古屋市をメイン回線として行い、東京、大阪を含む約60名の方がオンラインでの受講をされ、以下のような流れで実施されました。

- (1) 御料館オンラインツアー (木曾町教育委員会)
  - ①御料館の紹介 (パワーポイントによる説明)
  - ②スマートフォン (スタビライザー) を用いての館内レポート
- (2) オンライン講座「木曾の林業～伐木運材図会を中心に～」

講師：井上 比呂登 氏 (中部森林管理局)

木曾町の御料館からの生配信をし、中部森林管理局が所蔵する木曾式伐木運材図会を中心に、木曾の木材がどのように名古屋へ届けられたなど、木曾の森林の営みを紐解く内容。

今回の実施を通して、このようなリモートでの開催も、コロナ禍の新しいイベント開催方法として、今後の事業にも応用が利くのではないかと感じました。

令和3年1月10日（日）市民タイムス

# 木曾・御料館

# 地域の林業生中継で紹介



施設玄関に展示されている木曾五木を撮影する職員

## 名古屋城の講座で初

木曾町福島の御料館を発信地に、施設や地域の林業を紹介するインターネット経由の生中継が、9日に行われた。長年にわたり、町と交流がある名古屋市の名古屋城が主催する講座「城子屋」の位置づけで、新型コロナウイルスの感染防止で、長年続く両市町の交流が途絶えていることを受けて初めて企画された。名古屋市民をはじめとする約50人が、ネット経由で受講した。（降旗玲菜）



講義する井上さん

まず、町教育委員会職員が施設内外を紹介する「オンラインツアー」を実施した。手ぶれを防止するスタビライザーを取り付けたスマートフォンで撮影し、施設の見どころをナレーション付きで伝えた。続いて、林野庁中部森林管理局（長野市）の井上昌登さんが講師となり、木曾の林業を解説した。江戸時代後期ごろの木曾・飛騨両地方で行われた伐木・運材の技術や作業に携わる人々などを描いた絵巻物「木曾式伐木運材図会」を題材に、分かりやすく

昔の林業を伝えた。両市町は長年、木曾川上下流交流が続けている。木曾ひのきが名古屋城本丸御殿の復元に使われることになった平成21（2009）年を契機に関係が深まり、町内にある「市民の森」での植樹・育樹事業などを通じて毎年、双方の住民が互に行き来している。名古屋城総合事務所の吉田祐治さんは「木曾を通じて自分たちが住む（名古屋という）街を知り、地域やお城への愛着が深まれば」と話した。企画に関わった木曾広域連合地域振興課の古畑浩二課長は「講座を機に、コロナが落ち着いたら名古屋方面から遊びに来る選択肢に加えてもらえたらうれしい」と期待していた。